

■ CP研修会事前レポート課題

- 本年より、資格更新研修会の受講者は、事前レポートの学習が義務付けられました。競技規程集やスケATING解説書を紐解き、設問に挑戦して下さい。解答が完璧である必要はありません。どのくらい覚えているか？を確認してください。また、JDSF競技規程に於けるCPの資格要件は、
- ① タイムテーブルが作成できる
 - ② スケATINGシステムが理解できている
- とも、謳われておりますので、そちらの問題も、是非とも挑戦してみてください。なお当日は、本レポートを基に進行しますので、必ずご持参下さい。

JDSF競技資格部

◆ チェアパーソン研修会 事前練習問題 1

さて、どれくらい覚えているかな？ []内に、あてはまる言葉や数字等を入れてください

1. 公認競技

第4条 [] が公認する競技（以下 [] 公認競技という）は、 [] 級別競技とする。

1 [] 級別競技

A級～ [] 級 ノービス戦（男女共原則 [] なし）

2 公認シニア系競技

シニアⅡA～ [] 級戦（年内に [] 才以上の誕生日を迎える者）

シニアⅣA～ [] 級戦（年内に [] 才以上の誕生日を迎える者）

該当する規則は？ =

2. 公認競技種目の競技順序は、次の①、②のうち正しいのはどちら？

① ワルツ、タンゴ、スローフォックストロット、ヴィエニーズワルツ、クイックステップ

① チャチャチャ、サンバ、ルンバ、ジャイブ、パソドブレ

② ワルツ、タンゴ、ヴィエニーズワルツ、スローフォックストロット、クイックステップ

② サンバ、チャチャチャ、ルンバ、パソドブレ、ジャイブ

該当する規則は？ =

何条のルールでしょう？ =

3. 公認競技会の決勝戦では、曲の演奏時間を [] 以上とし、予選及び [] では、 [] 以上とする。

該当する規則は？ =

何条のルールでしょう？ =

4. 予選及び準決勝においては、原則として出場選手の少なくとも [] 以上が、次のラウンドに進まなければならない。

該当する規則は？ =

何条のルールでしょう？ =

5. 降級対象競技区分において、1次予選通過選手は、原則として〔 〕組数の〔 〕%～〔 〕%とする。ただし、〔 〕組数が〔 〕組以下の場合は次のとおりとする。
- 1) 〔 〕組～47組の場合は、1次予選通過選手を〔 〕組とする。
 - 2) 25組～〔 〕組の場合は、1次予選通過選手を18組とする。
 - 3) 16組～〔 〕組の場合は、1次予選通過選手を〔 〕組とする。
 - 4) 13組～〔 〕組の場合は、1次予選通過選手を〔 〕組とする。
 - 5) 〔 〕組～12組の場合は、準決勝からの開始とする。

該当する規則は？ = 何条のルールでしょう？ =

6. フロア一面積。15組を想定した場合、1辺を25mとしたら、もう1辺は〔 〕mになる。

該当する規則は？ = 何条のルールでしょう？ =

7. スクルティニアは、次のラウンドに進めるべき組数が指定された組数に一致しない場合には、直ちに〔 〕にこれを連絡しなければならない。

該当する規則は？ = 何条のルールでしょう？ =

8. A～〔 〕級競技に出場する選手は、原則として〔 〕登録をしなければならない。

該当する規則は？ = 何条のルールでしょう？ =

9. 公認競技は、〔 〕組以上の選手のエントリーを要する。A級～D級に限り該当自己級選手は最低〔 〕組のエントリーを要する。なお競技成立には〔 〕組数最低〔 〕組を要する。

該当する規則は？ = 何条のルールでしょう？ =

10. 1級戦ラテンの種目の組み合わせは〔 〕、〔 〕〔 〕、〔 〕〔 〕のいずれかの2種目。

該当する規則は？ = 何条のルールでしょう？ =

11. D級戦の昇級基準は、〔 〕組数の〔 〕%以内端数切り上げ最大〔 〕位までの成績を年度内〔 〕獲得したとき。

該当する規則は？ = 何条のルールでしょう？ =

12. 出場組数24組、1次予選の次はすぐに準決勝でしたが、残念ながら準決勝には進出できませんでした。では、次の①、②の選手の場合は、降級基準をクリア出来たでしょうか？（○、×で答えて）

①1級選手の場合は（ ） ②シニアⅡB級の選手は（ ） (P1～P10)

該当する規則は？ = 何条のルールでしょう？ =

13. 決勝戦の出場組数が同点により、7組以上になった場合
① 7～()組の場合は()を行わないで決勝戦を行う。
② ()組以上になった場合は()を行う。

該当する規則は? = 何条のルールでしょう? =

14. 昇級資格を得る順位が7位以上12位未満の場合は()で決定とする。

該当する規則は? = 何条のルールでしょう? =

15. 準決勝への進出組数が同点で()組以上になった場合は、()を行わないで全組で準決勝を行う。()ヒートで実施してもかまわない。

該当する規則は? = 何条のルールでしょう? =

16. エントリー組数とは()組数のこと。
出場組数とは競技会当日の()終了後の組数である。

該当する規則は? = 何条のルールでしょう? =

17. JDSF公認審判員の拘束時間は()時刻から()時間を基本とし、日当は()円。
拘束時間の延長は()分につき()円を支給する

該当する規則は? = 何条のルールでしょう? =

18. 予選では1ヒート当りのアップ数を()アップ以下で行うことが望ましい。

該当する規則は? = 何条のルールでしょう? =

19. シラバスで使われる略称と競技名称の関係について 【略称 J1L=DSCJ 1級ラテンのこと】
では、JBS=() SIBL=()
()=A級オープン戦ラテン(承認戦)
FJL=プレジュニアラテン【F:普及競技】

該当する規則は? = 何条のルールでしょう? =

◆ さまざまなトラブルとその対応について考えてみましょう

《1》 D級選手が燕尾を忘れてしまった。友人の3級選手の平服を借りて出場することは出来るか？

《2》 誤って他人の燕尾を着て出場、背番号が違うので採点外になってしまった
その結果で落ちてしまった選手はどうか？

ア) 選手の不注意なので、そのまま落選とする。

イ) ヒートに無い番号を主催者側が見落としていたので、そのヒートで踊った他の選手に
了解を得て再競技とする

《3》 選手係が、選手に出場すべきヒートを間違えて伝えたため、誤ったヒートに出場させられた
ために、落選してしまった。これは誰の責任？

ア) 選手の自己責任だから、選手係の責任ではない、したがって落選とする。

イ) 役員である選手係が言うことだから、実際逆らうことは難しいし、信用してしまう
何らかの救済措置を取るべきである。

《4》 C級戦の決勝でワルツ、タンゴを踊り、足を痛めたので最後のスローを棄権した。
この場合の結果処置はどうか？

ア) 演技しなかったスローを最下位にして採点する。

イ) 3種目全てを踊っていないのだから、決勝順位を最下位にする。

《5》 D級のスタンダードとラテンの2区分を申し込んでいた選手が、前日になってラテンの組相手を
別の女性(選手登録済み)に変更すると申し出てきた・・・、この対応はどうか？

《6》選手受付でのミス： 選手が背番号を間違えて申告。そのまま信じてゼッケンを渡した。その間違えて渡した背番号が、たまたま欠場した選手のもので気がつかなかった。1次予選終了後に、間違えている事に気付きました。・・・その後の処理はどうする？

《7》1級戦、エントリー18組、1次予選通過12組だが、チェック数の結果14組アップになってしまった。そうすると1次予選通過数が78%になってしまうので、一つ上のチェック数で行い、10組アップで準決勝を実施した。・・・この判断は適切？

◆ チェアパーソン研修会・事前練習問題 2

次の4種目のラテン競技のみの1次予選から決勝戦までのタイムテーブルを作りましょう。

《下記の表を参考にして、規程集を基に、それ以外の条件は競技長判断で設定してください。》

競技区分	1次予選(ヒート)	2次 (H)	3次 (H)	準決勝 (H)	決勝 (H)
D級戦	60組 (H)				6組 (1H)
1級戦	14組 (H)				6組 (1H)
2級戦	10組 (H)				6組 (1H)
SII B級戦	29組 (H)				6組 (1H)

◆タイムテーブル (1Hの設定時間= 秒/内訳)

No.	時刻	競技区分	ラウンド	出場組	ヒート数	UP数	種目	所要時間
1	10:00	D級戦	1次予選	60組	6H	36組	S、R	分
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								

・備考

以上